

# 体験授業プログラム

## 体育学科の醍醐味 理論と実践の融合 ～世界で勝つには・・・～

体育学部 体育学科 岩原文彦 准教授・田村 優樹 准教授・清水 咲子 助教

体育学科では教員養成、コーチ養成、アスリート養成、トレーナー養成などを基盤とし、広く社会でリーダーシップをとることができる人材の育成に取り組んでいます。スポーツに関するさまざまな学問を学ぶことができますが、今回のオープンキャンパス体験授業では、アスリートとして自らを「鍛える（トレーニング）」ことと、アスリートの成長を「支援する（コーチング）」との関わりについて、それぞれの領域を専門とする教員3名が聴講者も交えてディスカッションします。登壇するのは生化学の村田優樹准教授、水泳競技の清水咲子助教、コーチング学の岩原文彦准教授です。

時間 - 11:20 ～ 12:00 場所 - 4号館1階 4105教室

## スポーツカウンセリングの初歩

スポーツ文化学部 武道教育学科 齋藤 雅英 准教授

アスリートをメンタル面から支えるカウンセリング技法について、その初歩を体験的に学ぶのが、この授業の内容になります。アスリートは競技をおこなううえで、さまざまなストレスを抱える場合もあります。そのため、アスリートをメンタル面からサポートすることも必要となってきています。将来、アスリートをサポートする立場としてだけではなく、アスリートご自身にとってセルフケアの観点から体験してみたいかをご紹介します。

時間 - 12:30 ～ 13:10 場所 - 4号館1階 4105教室

## スポーツマネジメントの基礎 “マネジメント”のイロハのイ

スポーツマネジメント学部 スポーツマネジメント学科 齊藤 隆志 教授

スポーツマネジメントとはどのような意味でしょうか。高校部活動でも、日常生活でも様々な場面でマネジメントが行われています。一方、スポーツメーカーやプロスポーツチームで働く人たちはとても高度で専門的なマネジメントを行っています。誰にでも共通するマネジメントと、専門的な“プロフェッショナルマネジメント”の違いを理解し、大学においてスポーツマネジメントを学ぶ意義やスポーツ企業でどう生かすのかを説明します。

時間 - 11:20 ～ 12:00 場所 - 8号館3階 8301教室

## ラケットでシャトルを打ってみよう

児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科 古川 暁也 教授

バドミントンは、ネットを挟んだ両側のプレーヤーがラケットでシャトルを打ち合うスポーツである。バドミントンのシャトルは、スピードの急緩変化で飛ぶことが特徴であり、ラケットでいろいろなフライトが打ち出される。バドミントンの授業では、グリップの握り方からスタートし、さまざまな打ち方について学びます。その一部を体験してみましょう。

※運動に適したスポーツウェア、体育館用シューズの着用でご参加ください。

時間 - 12:30 ～ 13:10 場所 - 米本記念体育館1階 第一アリーナ

## テーピング ～テーピングとは 役割・目的・効果（講義/実技）～

保健医療学部 整復医療学科 石山 信男 准教授

スポーツ活動の際、不安がある部位に関節を固定したり、動きをコントロールするために“テーピング”。テーピングとは？目的、効果、そして巻き方を指導します。実際のテーピングの授業を経験してみよう。

時間 - 12:30 ～ 13:10 場所 - 9号館2階 9201教室

## コロナ禍で考える！子どものからだど心

体育学部 健康学科 野井 真吾 教授

新型コロナウイルス感染症の蔓延は、世界中の人々の生活を一変させました。日本の子どもたちも例外ではありません。とりわけ、昨年の臨時休校期間中は、子どもたちの生活リズムの乱れが心配されました。この体験授業では、子どもの生活習慣を改善するために「早寝・早起き・朝ごはん」ではなく、「光・暗やみ・外遊び」が大切であることをお話ししたいと思います。併せて、子どものからだど心に関するコロナ緊急調査の結果も紹介します。

時間 - 13:40 ～ 14:20 場所 - 4号館1階 4105教室

## 私は、いかにしてドイツの野球（ブンデスリーガ）に学ぶのか

スポーツ文化学部 スポーツ国際学科 波多腰 克晃 教授

日本の野球のレベルは世界でもトップクラスです。ドイツでも野球は一部の人に親しまれていますが、ドイツはサッカーやテニスが人気のスポーツ種目です。野球はマイナーなスポーツ種目です。にもかかわらず、私たちがドイツの野球に学ぶべきことがあるとすればそれは何でしょうか。一緒に考えてみませんか。元ドイツ・ブンデスリーガ（野球）の選手としてドイツのスポーツ事情を語ります！

時間 - 13:40 ～ 14:20 場所 - 4号館1階 4106教室

## スポーツ社会学（ドーピング問題を考える）

スポーツマネジメント学部 スポーツライフマネジメント学科 依田 充代 教授

近代スポーツはこれまで政治・経済、社会情勢に伴い変化してきました。その歴史を読み解いていくと、現在でも問題となっている事柄の原因となってきたものを見出すことができます。スポーツは決して華やかな表舞台だけではなく、その裏側にはさまざまな問題を抱えてこころまで成長・発展してきました。今回はスポーツ社会学講義の中から「ドーピング問題」を取り上げます。世界のドーピングを取り巻く社会について一緒に学んでいきましょう。

時間 - 13:40 ～ 14:20 場所 - 8号館3階 8301教室

## Virtual Reality を用いたスポーツ救急 / 救急隊活動 / 救命救急実習

保健医療学部 救急医療学科 鈴木 健介 准教授

救急医療学科では、スポーツ救急、消防や医療機関など様々な場所で活躍できる救急救命士を養成しています。コロナ禍であっても「教育の質」を向上させるという取り組みの中で、135種類以上のオリジナル Virtual Reality 教材を作成しました。体験授業では、スポーツの競技特性に合った救護を行うスポーツ救急、救急現場で活動する救急救命士の目線、救命救急センターでの医師目線、現場を疑似体験して頂きます。日本で、世界で、日本体育大学でしか体験できないVRを用いた実習や、Youtubeで公開している野外活動実習特別シリーズ、スポーツクラブとの協定に基づくスタジアム救護活動など、最新の取り組みについて、楽しくお話させていただきます。

時間 - 11:20 ～ 12:00 場所 - 9号館1階 臨地実習室